



# こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党  
八千代市議団  
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>

日本共産党八千代市議団メール：[kyousan@jcp-yachiyo.jp](mailto:kyousan@jcp-yachiyo.jp)



第659号  
2024年12月23日

発行  
日本共産党  
八千代市議会議員団  
八千代市大和田新田  
312-5

## 被団協がノーベル平和賞を受賞

2017年7月、国連総会で核兵器禁止条約が国連で採択され、その年のノーベル平和賞はICAN（核兵器廃絶国際キャンペーン）が受賞しました。2021年1月には核兵器禁止条約が発効し、今年のノーベル平和賞は日本原水爆被害者団体協議会（被団協）が受賞しています。

自身の被爆体験を語り、ともに活動をされてきた方が八千代市に住んでおられます。被爆された方は高齢になっていますが、今なお市内の学校で語り部として活動されています。

2つの受賞はどちらも核廃絶を訴えています。ウクライナ戦争では核兵器使用をちらつかせ、パレスチナでも戦争が続いています。核戦争の不安が世界に広がっています。

被団協のノーベル平和賞受賞の背景にはこうした国際情勢があると思います。「核兵器は極めて非人道的な殺りく兵器であり、人類と共存できない、させてはならない。速やかに廃絶しなければならない。」と繰り返し訴えています。

## 八千代市では37年前に平和都市宣言を行う

八千代市は1987年9月18日平和都市宣言をしました。一部中略

「私たち八千代市民は、21世紀に向けて・・・中略・・・私たち八千代市民は、わが国が世界唯一の被爆国として、核兵器の恐ろしさと被爆者の苦しみを世界の人々に訴え続けるとともに、再び地球上に広島・長崎の惨禍が繰り返されることのないよう世界の恒久平和の達成を強く念願するものである。私たち八千代市民は、生命の尊厳を深く認識し、将来にわたってわが国の非核三原則が堅持されるとともに、平和を脅かす核兵器の廃絶と世界の恒久平和の達成のため努力することを決意し、ここに平和都市宣言をする。」とあります。



駅前などに掲げられている「平和宣言都市」のプレート

## 平和都市宣言に背を向ける市議会

最後の一文に注目してください。「核兵器の廃絶と世界の恒久平和の達成のために努力する」とあります。平和都市宣言をしている八千代市の議員である私たちは、この宣言を遂行する立場です。しかし、12月市議会の総括審議では、核兵器廃絶に消極的な日本政府に対して「核兵器禁止条約締約国会議へのオブザーバー参加を求める意見書」（発議案）が賛成者少数で否決されてしまいました。この意見書は核兵器禁止条約の批准に背を向ける政府に対して地方議会から呼びかけるものです。何故反対するのかの討論もないまま、黙って否決するのは許せません。被爆者のみなさんの心からの叫びをどう受け止めているのでしょうか。

私たち日本共産党市議団も平和都市宣言を行なっている八千代市の議員として、ともに訴えていきます。